

第13回草津市総合計画策定委員会概要	
日 時	平成21年11月2日(月) 13時30分～15時30分
会 場	庁議室
出席者	山岡副委員長、加藤委員、林田委員、北川委員、山本委員、田内委員、勇委員、西村委員、善利委員、中村好委員、片岡委員、岸本委員、上寺委員、田村委員 中村良委員

1. 開会

2. 議事

1) 都市経営特別委員会・地域活性化特別委員会の提言を受けての市としての 取り組み(案)について

事務局から説明

《意見等》

特になし

2) リーディング・プロジェクトについて

事務局から説明

《意見等》

特になし

3) 国土利用計画について

事務局から説明

《意見等》

- ・御倉の地域について、工業地帯と農業地帯が隣接するとなると、何らかの緩衝地帯を設けるべきである。
- ・ここまで話が進んでいる中、振り出しに戻す事は難しいであろう。事務局において、この件についてのメリットやデメリットを整理して説明をしてはどうか。
- ・個々の土地利用をどうしていくかも大切であるが、市として産業・工業振興をどうしていくかの方針を決める必要があるのではないかと。国土利用計画は最上位となる計画であろう。
- ・市としては、工業の振興も農業の振興も重要である。
- ・何故こうなるのかの問題点等の共通認識を持つ必要がある。
- ・課題があるのならば、市全体として土地利用計画の整合がとれるようにするべきである。

- ・市として、工業地域を増やしていくのか考えていく必要がある。環境との調和もしっかり考えていくべきである。
- 都市計画マスタープランにおいても、位置づけがされている地域もあり、その話をもとに戻すことは難しいのではないかと。事前に関係課に集まってもらって協議、調整を行っている。御倉については、原課の意見も組み入れている。
- ・拡大市街地についても、もっと議論を行うべき。便乗して色塗りをしているのではないかと。これで良いのかどうか。市としてこれで進めていくという姿勢を示すべきである。

—以 上—